

事故多発交差点

カーブミラーを改善して!

砂田市議 地域要望実現に 走る

現場は砺波小矢部線が緩くカーブをしているところと接している小さな交差点で、建物の陰で右方向が見えないため、カーブミラーが設置されています。ところが設置場所が悪いのか、数台の車が右方向からきていた場合、カーブミラーで確認し、車が通りすぎたかと思つて前へ出る

日本共産党の砂田喜昭議員は、7月18日、若林地区のある交差点で事故が多発しているとの話を聞いて、すぐ、現場を調査し市役所へ改善を申し入れました。



と、もう一台、車が目の前を走りすぎることがあります。交差点近くまで来た車が、カーブミラーの視界から消えてしまうのです。

市の担当者は「現場を調査して、改善したい」と述べました。

写真説明

カーブミラーに2台の車が映っていますが、これが通り過ぎ見えなくなると、ソロソロと車を前に出すと、突然、もう一台が目の前を横切ることがあります。交差点のすぐ近くまで来た車が、カーブミラーの視界から消えてしまうのです。カーブミラーの設置場所をもう少し左側へ移動するか、ミラーの角度調整が必要と思われる。

高齢者を襲う住民税増税

	2006年6月	07年6月	08年6月
公的年金等控除	縮小		
老年者控除	廃止		
高齢者の非課税限度額	廃止 (1/3増税)	廃止に伴う増税 (2/3増税)	廃止に伴う増税 (全額増税)
定率減税	半減	全廃	
住民税率		一律10%化	

え? 去年の4倍以上に!

お年寄りの住民税 大增税に

あなたの住民税はどのくらい増えたか??

6月中旬、市役所から届いた住民税の納税通知書を見たある高齢のご夫婦は、金額を見てびっくり。

昨年1年間の市・県民税が20、200円だったものが、今年は第1期分だけで25、700円、年間で86、600円にと4倍以上になっていました。この家庭では国保税(介護保険分を含む)も年間23、200円増税になりました(283、800円から30、700円に)。あまりにも急激な増税に、市役所の窓口には「間違いでないか」などの問い合わせや抗議の声が殺到しています。

増税の「真犯人」は 自民党・公明党

小泉内閣が「税制改革」を叫び、高齢者、年金生活者をねらい打ちするかのようになり、増税政策をとったことが原因です(「税制「改正」の内容は別項」。こんなひどい増税をした「真犯人」は自民党と公明党です。

共産党 「負担増路線の中止を」

日本共産党の志位委員長は05年度予算の国会審議で、「家計の所得が減っている時期に、増税路線

に踏み出したことが、戦後一度でもあったか」と小泉首相に迫り、負担増路線の中止を求めました。今年6月市議会で砂田喜昭議員も「増税やめよ」と、市税条例の「改正」に反対しました。

自民党・公明党が 強行した

老年者控除

税額を算出する際、六十五歳以上で、年間の合計所得金額が一千万円以下の高齢者について、住民税で四十八万円を課税対象となる所得額から差し引くことができまし。○四年度税制「改正」で廃止されました。

税制「改正」

公的年金等控除 税額を算出する際、公的年金等の年間受取額から最低年百四十万円(六十五歳以上の人の場合)を差し引くことができました。○四年度税制「改正」で、六十五歳以上の高齢者のための上乗せ措置が廃止され、最低保障額も百二十万円に縮小されました。

高齢者の 住民税非課税限度額の廃止

これまで、六十五歳以上の高齢者の場合、前年の所得金額(年金収入から公的年金等控除を引いた額)が、百二十五万円以下であれば非課税でした。○五年度税制「改正」によつて、この非課税限度額を百二十五万円から若年者と同様の九十二万円(夫婦世帯の均等割。单身世帯は均等割、所得割ともに三十五万円、いずれも生活保護一級地の場合)まで引き下げました。この増税で、○六年度分から三年間にわたり段階的に増税になります。

定率減税

所得税(国税)と個人住民税(地方税)の税額の一定割合を差し引く減税。○五年度税制「改正」によつて、○六年度から軽減額が、所得税額の10%(最大十二万五千円)、個人住民税額の7.5%(同二万円)に半減されました。

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2006.7.23 通巻No.833

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245 Fax 67-4842

何でも



市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322

参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

党員西地区委員 坂本ひろし

党県常任委員 上田俊彦 Tel 69-8113

党県政対策委員 上田ゆみ子 Tel 68-2106

禁無断転載 複写配布